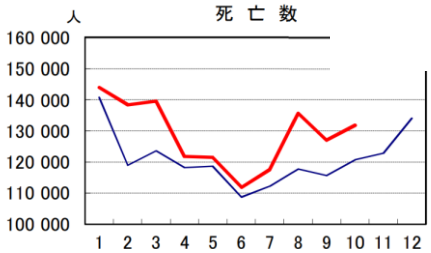
■免疫力低下の理由■

mRNA ワクチンを接種すると免疫力が抑制されます。これはもはや世界的に周知の事実であり、知らずに頻回接種しているのは日本人くらいです。帯状疱疹や梅毒などの日和見感染症が急増しているのも免疫力の低下が原因です。では、免疫力が抑制されるメカニズムをご説明しましょう。まず、mRNA によりスパイク蛋白が生成され抗体が作られると抗体はスパイクを攻撃し全身に炎症が起こります。人工の mRNA は分解されにくく修飾されており（1ﾒﾁﾙｼｭｰﾄﾞｳﾘｼﾞﾝ）長期間スパイクを産生するため大変危険です。それを回避するため接種後すぐに免疫力を抑制する Treg 細胞が誘導されます。接種直後のｱﾅﾌｨﾗｷｼｰやｻｲﾄｶｲﾝｽﾄｰﾑで死亡した方はおそらく Treg 細胞が上手く機能しなかったのだろうと推測出来ます。Treg 細胞は抑制性ｻｲﾄｶｲﾝを放出し免疫反応を抑制して炎症を抑えますが、自然免疫（白血球、ﾏｸﾛﾌｧｰｼﾞ、NK 細胞など）も抑制してしまうのであらゆる病気に罹りやすくなってしまいます。ウイルスや細菌による感染症は勿論、癌細胞も多くは自然免疫で処理されているので、自然免疫が抑制されると癌の増殖が抑えられず急激に悪化する場合があります。いわゆる「ターボ癌」と呼ばれる現象で、3 回以上接種された方に顕著に現れていると現場の臨床医から多くの報告が上がっています。私もターボ癌の話は患者さんからよく聞きますし、帯状疱疹になられた方は 3 年前までの数倍多く診ていますので、机上の空論ではなく実際の肌感覚として危機感を覚えています。

免疫力の低下は接種率世界一の日本が感染者数世界一である事実からも理解出来ると思います。感染予防どころかコロナにも罹りやすくなる。非接種者より接種者の感染率の方が高いのは世界共通の事実です。しかし、免疫抑制は時間と共に緩和し元に戻ります。が、接種を続けると抑制も続き、頻回の接種はスパイク蛋白の生成も常態化するので抑制が緩和すると自己免疫疾患を発症する可能性が高くなります。遷延するワクチン後遺症とは、免疫機能が戻ってから起こる全身炎症や自己免疫疾患だと思われます。つまり、打てば打つほど病気になる。それが遺伝子ワクチンの正体です。百害あって一利なし！お願いだからホントにもう打つのやめましょう！！

赤が 3 回目接種数、黄が 4 回目接種数、青が死者数👆完全に接種数と死者数が相関しています！



青が例年の死者数、赤が今年の死者数👆今年戦後最大の激増！！